



東稲ニュース

第 111 号

早稲田大学校友会東久留米稲門会

令和2年 3月10日発行
発行責任者 高橋 哲男
編集責任者 小山田朋樹
E-mail: bente-takahashi@jcom.home.ne.jp
http://higashikurume-toumonkai.com/
事務局 大矢 真弘 TEL042-475-8532

東久留米稲門会第 26 回定時総会のご案内

東久留米稲門会 会長 高橋 哲男

この案内を作成している時は、2月中旬で新型コロナウイルスが猛威を振るっていますが、早期に終息することを祈ります。皆様には健康への充分なご留意をお願いします。お元気に総会に出席いただくことを楽しみにしています。また、日頃、東久留米稲門会にご支援、ご協力をいただきましてありがとうございます。「第 26 回定時総会」は、来る 4 月 18 日(土)に開催いたします。多数の皆様のご出席をお待ちしております。今年も卒業後 60 年を超える諸先輩には、お祝いを用意しておりますので、是非ともご出席をお願いいたします。

また、早稲田大学校友の皆様には、毎年この時期に「東稲ニュース」にてご入会の案内をさせていただいておりますが、東久留米稲門会は、早稲田出身の約 150 名の会員からなる地元での親睦会です。趣味や運動で楽しむことや偶には酒席で交流する気楽な会です。是非、一度体験なさってください。また、ホームページからもアクセスできますのでご閲覧をお勧めします。

第 26 回文化講演会・定時総会・懇親会のお知らせ

日 時 : 令和 2 年 4 月 18 日(土) 午後 2 時 00 分
場 所 : 成美教育文化会館 1 階 ギャラリー
東久留米市本町 8-14 TEL042-471-6600

文化講演会 : 午後 2 時 00 分

講演者 正田浩司氏

演題 「武蔵野の自然史 東久留米市周辺の地形・地質」

定時総会 : 午後 3 時 40 分

議題 2019 年度事業報告

2019 年度収支報告 同会計監査報告

2020 年度事業計画

2020 年度収支計画

その他(規約変更等)

卒業後 60 年以上経つ会員への記念品贈呈

懇 親 会 : 午後 4 時 45 分 3 階大研修室 会費 3,000 円

*万が一、新型コロナウイルスの問題で開催が困難になった場合には、ホームページに掲載するとともに出席予定者にはその旨ご連絡致します。



***校友・会員の皆様へ** 早稲田大学校友会 入会のお願い

早稲田大学校友会会員を中断している、あるいは未入会の方、校友会費（5,000円）のほとんどは次代を担う早稲田大学奨学生を応援するために使われております。母校、早稲田大学校友会への入会をお願いします。（校友会会費振込用紙同封）

***校友の皆様へ** 東久留米稲門会 入会のお勧め

東久留米稲門会は、今年で26年目。早稲田を卒業して東久留米に住み、既に仕事をリタイアした方や、まだ現役で働いている方が共に「心のふるさと早稲田」を胸に刻んで集まり、年3回の懇親会、趣味や運動の各部会・サークル活動を楽しんでいます。「東久留米稲門会に入って良かった！稲門会は面白い！」という声が多く、多くの会員から聞かれるのは次のようなことからです。

- <1> 地元で同窓の友人ができる。
- <2> 部会、サークルが多くあり、同じ趣味を持つ人とご近所で仲間になれる。
- <3> 新年会、総会懇親会、秋の懇親会では、飲食の中で親交を深められ、早稲田の校歌を学生時代に戻ったように、全員で歌うことができる。

早稲田は一生楽しめます。地元同士のお仲間になりませんか。校友の皆様のご入会を心からお待ちしております。



会員になると・・・ 東久留米稲門会の会員として登録され、奇数月10日発行の「東稲ニュース」及び各部会の案内チラシが各地区のポストマンより宅配されます。毎年7月に発行する新年度会員名簿（規約、弔意規定を含む）が配付されます。また、当会主催の総会、秋の懇親会、新年会の案内の他、太極拳、囲碁、俳句、書道、バドミントンでは、同趣味の仲間と楽しみながら親睦を深め、技量の向上も図られます。女性サークル、ウォーキング&山歩き、ゴルフ、グルメ、郷土研究、カラオケ、早慶戦観戦、ラグビー観戦、芸術鑑賞、及び映画鑑賞会に何時でも参加できます。

***会員の皆様へ** 東久留米稲門会 会員継続のお願い

2020年4月より新年度になります。2020年度（4月より1年間）も引き続き東久留米稲門会の会員継続をお願いいたします。

***東久留米稲門会年会費の振込手続**

年会費は3,000円です。同封の払込取扱票（青色）を使用して最寄りの郵便局から5月末日までに、お振込みください。なお、総会にご出席の方は受付の際3,000円をお支払いいただく方法もございます。（郵便局の窓口での支払いは送金手数料が203円かかります。なお16～17頁「東稲広報室」に郵貯ATMを使つての3月末まで無料、4月1日から100円の口座間振替の方法をご案内しております）

***総会出欠返信用はがき**

同封のはがきに出欠の他、必要事項をご記入の上、4月3日（金）までにご投函くださいますようお願いいたします。

会の告知板

【部会予定】

3月30日（月）	ウォーキング&山歩き「羽村堰桜堤での花見」	<中止>
4月5日（日）	臨時役員会	16:00 生涯学習センター
4月18日（土）	東久留米稲門会第26回定時総会	14:00 成美教育文化会館

4月28日(火)	ゴルフ部会「春の稲門会コンペ」	<玉村ゴルフ場>
5月9日(土)	第3回マグカップの会	13:00 華屋与兵衛
5月11日(月)	ウォーキング&山歩き「高山不動、関八州見晴台」	8:00 東久留米駅改札口
5月17日(日)~18日(月)	旅行同好会「館山寺温泉/豊川稲荷」	6:45 東久留米市役所前
5月28日(木)	映画鑑賞会 第67回順延 <鉄道員>	14:00 成美教育文化会館
6月8日(月)	ウォーキング&山歩き「鎌倉長谷寺 or 小岩菖蒲園」	<詳細未定>

<各部会定例活動一覧>

部会	3月				4月			
	日	曜	時間	場所	日	曜	時間	場所
女性カーク	19	木	ランチ会 中止		23	木	10:00~	中央町地区センター
書道	8	日	中止		12	日	13:00~	生涯学習センター
俳句	22	日	13:00~	生涯学習センター	26	日	13:00~	生涯学習センター
囲碁	22	日	13:00~	成美教育文化会館	26	日	13:00~	成美教育文化会館
太極拳	14	土	中止		4	土	10:00~12:00	成美教育文化会館
	21	土	10:00~12:00	成美教育文化会館	11	土	10:00~12:00	成美教育文化会館
	28	土	10:00~12:00	成美教育文化会館	18	土	10:00~12:00	成美教育文化会館
バドミントン	20	金	10:50~	東久留米スポーツセンター	毎週金		10:50~	東久留米スポーツセンター
	27	金	10:50~	東久留米スポーツセンター				

※この予定は3月7日(土)までに判明したものです。以降に変更の出る可能性もありますので、ご注意ください。

【大学・校友会関係】

3月21日(土)	三多摩支部主幹引継ぎ会	<詳細未定>
3月22日(日)	早同定期野球戦 (安部磯雄記念野球競技場)	<中止>
4月10日(金)	稲門祭実行委員会	18:45 井深記念講堂

会の報告

◎東久留米稲門会新年会の報告

1月19日(日)午後2時より、成美会館で恒例の新年会が開催された。参加者43名。今年は暖冬で、当日は会合に打って



村上万里さん

つけの日和だった。高橋会長の挨拶、帆角3代会長の乾杯の音頭で宴会がスタート。料理やアルコール&差し入れの上質なお酒をいただきながら一同リラックスして、会場のあちらこちらで話に花が咲いていた。今回、病氣療養中の村上さんがお元気な姿でご参加になった。村上さんが近況報告されると、更なる回復を応援する諸先輩方の気持ち



令和の書を前に高橋会長



ビンゴ1位の吉田清郎さん



帆角元会長の乾杯音頭



平山元会長の中締め

と村上さんの会への思いが重なり、会場は温かな雰囲気にも包まれた。暫くして当日1番の出し物のビンゴ大会が始まった。会で用意した商品券や有志持ちよりの商品を目指して一同大いに盛り上がった。ビンゴの1番乗りは吉田さん。楽しい時は瞬く間に流れ、締めの挨拶を平山5代会長からいただいた。最後に、恒例の大島さんのハーモニカ伴奏、大矢事務局長のリードで紺碧の空と校歌を斉唱&エールで、新年会は楽しい余韻を残しつつお開きとなった。

山岡 恭子 記



歓談風景



恒例の大矢さんのエールと大島さんのハーモニカ

◎役員会報告 2019年度第5回役員会が2月2日(日)16:00～ スペース105にて開催された。

<議事録概要>

高橋会長より、新年会のお礼の挨拶の後、本日の役員会では春の総会内容、稲門祭の実行委員、予算案の相談日等の決定、三多摩支部会の担当支部としての役割の説明等があるので、よろしくお願ひしたいとの報告があり、開会した。

1 大学・校友会・近隣稲門会・三田会関係

- (1) 1月18日(土) 練馬稲門会主催新春コンサート 小野 *次年度は2021年1月16日(土)実施
- (2) 2月22日(土) 三多摩幹事長・事務局長会議 高橋
- (3) 3月2日(月) 稲門祭運営委員会 山口
- (4) 3月7日(土) 春季代議員会 小山田・山口
- (5) 3月21日(土) 三多摩支部引継会 高橋・山口・小山田・有賀・大矢
- (6) 2020年度稲門祭実行委員の選出 吉田・金子 <山口:運営委員>

2020年度は金子氏に会長から打診、2021年度片平氏、2022年度は大矢とした。

2. 新年会の反省

次年度は出欠のハガキに景品の申し出欄を作り、不足分を大学のグッズ等で賄い、参加者全員に景品を渡すように変更する。

3. 第26回定時総会について(成美教育文化会館、ギャラリー・大研修室)
- (1) 定時総会・文化講演会について 4月18日(土) 講演会:14時00分~15時30分、
総会:15時40分~16時30分 懇親会:16時45分~18時30分
 - (2) 文化講演会 司会:大矢、
講演者:正田浩司氏 1983(昭58)年理工学部大学院卒 埼玉県立高校 地学担当教員
演題「武蔵野の自然史 東久留米市周辺の地形・地質」
 - (3) 定時総会 司会:小山田副会長 議長:高橋会長
議題 ①2019年度事業報告 大矢 ②2019年度収支報告 清水
③2019年度監査報告 塚越 ④2020年度事業計画 大矢
⑤2020年度収支計画 清水
 - (4) 懇親会 16:45~18:30 司会:大矢
 - (5) 総会案内印刷及び袋詰め作業 3月11日(水)17:30~18:30
案内資料は3月22日(日)までに配布、返信は4月3日(金)までとする。
*会員以外の市内校友への案内は、50代~70代の卒業生とする。
*返信ハガキで興味ある部会調査もする。
 - (6) 臨時役員会 4月5日(日)16:00 生涯学習センター(予定)
 - (7) 総会資料印刷 4月11日(土)17:30
4. 次年度予算(事前打合せ等)について:3月18日(水)18:30~ 市役所ロビー
5. 広報関係:ホームページ・・・現在、サーバー更新のため閲覧不可。坂井氏に更新手続きを依頼。
6. サークル・部会関係
7. その他
- (1) 今後の役員会:2020年 4/5(日)、6/7(日)、8/2(日)、10/4(日)、12/6(日)
 - (2) 映画鑑賞会: 2020年 2/27(木)、5/28(木)、9/24(木)
 - (3) 三多摩支部会運営について:11月総会時の上映作品の相談を2月27日(木)18:30から行う。
 - (4) 早大商議員について:
2020年に改選がある。現在、安次峰前会長と高橋前事務局長だが、会長(高橋)と事務局長(大矢)に変更する。
 - (5) 近隣稲門会の組織状況について
- | | 人口 | 校友数 | 会員数 |
|---------|--------|-------|-------------|
| 清瀬稲門会 | 74000人 | 485人 | 85人(17.5%) |
| 東村山稲門会 | 約15万人 | 1500人 | 171人(11.4%) |
| 小平稲門会 | 約19万人 | 2600人 | 159人(6.1%) |
| 西東京稲門会 | 約20万人 | 2500人 | 230人(9.2%) |
| 東久留米稲門会 | 約11万人 | 1000人 | 135人(13.5%) |
- (6) 家族会員の定義を次回役員会に提示する
・次回役員会:2020年4月5日(日)16時より、生涯学習センターの予定。 大矢 真弘 記



◎2019年度東京三多摩支部幹事長・事務局長連絡会

2月22日(土)14時から青梅市の青梅福祉センターにおいて開催され、大矢事務局長が所用のため、来年度主幹稲門会になることから高橋が出席した。

議題は、(1)校友会費納入促進について、(2)2020稲門祭副本部長・運営委員の推薦について、(3)2020年度各稲門会総会日程について、(4)2019稲門祭への三多摩支部出店の報告について、(5)2019稲門祭り

念品販売状況について、(6) 校友会からの依頼事項について、(7) 三多摩アンケートについて。

(1)から(6)までは30分程度で終了したが、(7) 三多摩アンケートは支部長複数年制とブロック制であったため各稲門会の意見が相違し、また理解度も差があり、今回の会議でまとまらず7月に幹事長・事務局長会議を再度開催し、8月の会長会に提案することになった。会議は17時に終了しその後の懇親会は19時30分に閉会した。

高橋 哲男 記

未入会の校友のみなさま、部会未参加の会員のみなさまへ！

東久留米稲門会 部会一覧

東久留米稲門会には、下記のような部会・サークルがあり皆様をお待ちしております。当会会員になれば、いずれのサークル・部会にも参加することが可能です。定例で活動しているもの、開催の都度お知らせをして参加を募る形の会、等々盛りだくさんの機会を設けています。会員全体が集まるのは、1月の新年会、4月の総会・懇親会、秋の懇親会と年に3回の機会がありますが、活動の中核をなすのは部会活動です。是非、ご興味のある部会にご参加ください。大歓迎いたします。

部 会 名	活 動 内 容	連絡先 (部会長)
女性	月に一回の読書会。(角川ビギナーズクラシックス文庫の中から読む本を決めています) これまで「古事記」「伊勢物語」「雨月物語」などを読んできました。年に二回程度のランチ会や散策もしています。	三浦洋子 Tel:042-475-0879
ゴルフ	平成10年にゴルフ部会が発足し、稲門会コンペ、三田会との合同コンペ共に春秋に開催で年4回になります。通算回数は稲門会が43回、合同コンペが30回になります。三田会との合同コンペを始めたころは三田会が優勢でしたが、直近は稲門会が盛り返して現時点で15勝15敗となっております。会員数は20名で年齢、ゴルフの腕前と幅広い集団ですが、好きなゴルフを通じて仲間づくり健康維持、親睦をはかることを一番の目標としています。稲門会の会員以外の早稲田校友、ご家族の参加も歓迎します。	金子孝司 090-2626-3506 e-mail:cgm.knk@gmail.com
囲碁	例会は毎月1回第4日曜日(成美会館3F 13時～16時半)、春に早大囲碁祭、団体戦、個人戦、秋に稲穂会「個人戦」、大学親善囲碁大会、11月合宿。東久留米はAクラスの上位キープ、部員は西東京含めて20名。	中村敏明 cooky1011_0311@yahoo.co.jp 090-6562-7677
俳句	月1回句会 第3日曜日 13時～15時30分 生涯学習センターにて。年会費 2,000 円。夏井いつき氏曰く。今までで見ているようで見ていなかった事、気づかなかった小さな出来事、日常の「あれっ」「おやっ」と思ったところに「俳句の種」はあるのです。俳句の種と季語を組み合わせると俳句を作ってみましょう。「木の芽風 俳句の種を 探しをり」優治	橘 優治 090-4718-0301 padre.de.leon@nifty.com
書道	毎月第二日曜日 13時。書の基本基礎の習得、四字熟語と芭蕉の俳句、座右の銘他自分の好きな言葉等を各自が書いて持参、互いに批評、添削しながら気軽に書を愉しむ趣味の書道部会。2年に一度の作品展、半年毎のミニ作品展、座右の銘展、書き初め展等。	武藤 豊 090-1691-3246 y.muto@jcom.home.ne.jp
太極拳	毎月3回の土曜日(年初に確定)、午前10時から12時、成美教育文化会館、会費は参加ごとに500円。無理なく体を動かす、強度アップは自由自在。これからの人生の基礎の体を作り上げます。稽古以外には、3月に桜の中での稽古及び懇親会、9月には周年記念懇親パーティで楽しく語り合っています。	渡辺真司 042-478-6023

ウォーキング&山歩き	1回/月、月曜日に実施。名所（花、川）や旧跡を訪れる。近郊の丘陵を2～3回/年ハイキング（歩く負荷は初級程度）。参加費；100～300円/回 参加実績：各回15名超程度。（内、女性3～7名、80歳台の方も参加） 昨年の実績：幸手権現堂桜堤、所沢キャンパスツアー、入谷朝顔市、羽村堰から玉川上水を歩く、黒目川を終着まで下る、雑司ヶ谷七福神、等々。 （注）台風禍による山道の通行止めの為、2件のハイキング中止。 今年の予定：高山不動・関八州見晴台、小岩菖蒲園、浅草寺ほおずき市、武蔵横手から五上の滝、奥多摩鳩ノ巣溪谷、等々	東海俊孝 042-473-8566 toshi-tokai@kvj.biglobe.ne.jp *連絡はメール優先でお願いします。
グルメ	グルメの会場を決めるのは、なかなか難しい面がありますが会員及び校友皆様が、少しでも満足できる店を案内したいと思っています。具体的には年1回20人ほどの参加で、5000円程度の昼食会を予定しています。お酒は飲みすぎずほどほどにお願いします。	高橋哲男（代理） bente-takahashi@jcom.home.ne.jp
郷土研究	南沢湧水群は、平成の名水百選で、村野住宅邸は国登録重要文化財です。また、東久留米市には独自の七福神があります。これまで見学した人は多いと思いますが、また、訪ねてみたいと思っています。	高橋哲男（代理） bente-takahashi@jcom.home.ne.jp
カラオケ	7月、12月に開催します。オン・ステージでお腹の底から声を出してストレスを発散し、スッキリした気分になること请け合いです。そのうえ、年次を越え、気の置けない仲間と歓談しつつ楽しいひとときを満喫できます。	高柳康夫 090-8741-8424 y-takayanagi@watch.ocn.ne.jp
春秋早慶戦観戦	春秋各一試合観戦予定。東稲ニュースとチラシで日程連絡します。入場料は1500円程度、弁当・飲み物持参。東久留米に戻って祝勝会 or 残念会。スポーツ観戦はやはり現場が何よりです。学生気分に戻って、「都の西北」・「紺碧の空」を歌ってみませんか。	山口謙二 042-425-2915
ラグビー観戦	早稲田ラグビーの公式試合である対抗戦、および大学選手権の観戦、応援をする部会です。毎年対抗戦は9月から12月の初旬に行われ、大学選手権は12月中旬から始まり翌年の1月中旬までトーナメント方式で開催されます。	小野泰右 090-7251-0648 t_ono_1120@yahoo.co.jp
諸芸術鑑賞	練馬稲門会主催新春早稲オケコンサートが中心で、例年約30から40名の参加。他の企画も検討中。	小野泰右 （同上）
バドミントン	毎週金曜日の午前11時から午後1時の2時間、東久留米スポーツセンターで練習しています。素人ばかりですが、名コーチが教えてくれます。練習や親睦行事などへの参加はご自由、部員は16名で内5名が女性です。練習参加費は1回毎に200円、ちょうど良い運動になります。	坂井淑晃 sakaiy@jcom.home.ne.jp 090 3223 9447
映画鑑賞	諸先輩が設立し、開催60回を超える映画鑑賞会を、昨年度から役員が主体となり運営しています。5・9・11・2月の最終木曜日に開催予定。東久留米市民にも愛され、毎回約300名の参加者です。会員及び校友の参加をお待ちしております。	高橋哲男 bente-takahashi@jcom.home.ne.jp
旅行同好会	昨年度は休会していましたが、会員からの要望もあり、とりあえず第15回バス旅行を行います。「部会だより」の活動予定にある通り、5月に浜名湖、館山寺温泉、豊川稲荷を回るバス旅行を計画しています。是非、皆様ご参加ください。	井坂 宏 042-477-1632
マグカップの会	2019年11月に創部したばかりの新興部会。早稲田卒後60年以上の会員を中心とする年4回(2、5、8、11月の第2土曜、午後1時から)の歓談会。若い会員にも門戸を開放して入会は自由。毎回、会員または賛同者による20分間スピーチが、この会の“売り物”。	國米家巳三 042-474-1119

部会だより 【活動報告】

<マグカップの会>

2月8日(土)、午後1時から2時間、第2回「マグカップの会」が開かれました。参加者は13名。母校卒業後60年以上を経た本会会員を中心に、高橋哲男会長や前会長、元会長のほか賛同者も出席してもらいました。会場は、居酒屋「庄や」(東久留米駅西口)。

例によって乾杯のあと、この会の目玉である「20分間スピーチ」に、予めお願いしていた大先輩、本間信一氏(昭和24年卒、94歳)が出講。テーマは「マグカップの会」ならではの高齢者の「電車利用の原則」。付き添いがない場合の条件付きの心得です。以下、その内容を紹介します。



- ①電車を待つときはホームの最前列に並ばない。理由は(A)ホームドアのない駅では、風圧でヨロケルことがある。(B)電車がきてドアが開いたとき、足がモツレルことがある。
- ②連結車両の多い電車に乗るときは、先頭車両と最後尾車両にはなるべく乗らない。理由は(C)何か事が起きた時、対応が鈍い。
- ③駅の階段は、中央を避けて右もしくは左側の手摺りを頼りに昇降する。理由(D)自分の昇降が遅いので、他の通行人の邪魔になる。

- ④エスカレーターに乗ったら、前が空いても移動しない。理由は(E)移動のためヨロケル危険がある。

一般に、高齢者は矍鑠(かくしゃく)然とした人でも、大変な心配りをして暮らしているものです。山登りにたとえば、40代、50代では中腹の山道をすいすい登っていきますが、80代、90代になると峻険な山の稜線のごとく狭い道なき道を歩いていて、ちょっと油断すると鋭く切り立った谷底に転落することになります。本間氏は、電車乗車を1例として、高齢者の暮らしにこまやかで慎重な心配りが欠かせないことを語ったのでした。

マグの会は、その後歓談の時間を持ち、相互に“命の洗濯”を楽しんで散会しました。

國米 家巳三 記

<諸芸術鑑賞部会> 1月18日(土) 「ニューイヤーコンサート」

2020年1月18日恒例の練馬稲門会ニューイヤーコンサートが練馬文化センターにて開催されました。今年で14回目となる早稲田大学交響楽団のコンサートは指揮に曾我大介を迎えて、年々評価が高まるなか、昨年に引き続き満席となった。当会より31名が鑑賞した。



今年がオリンピックイヤーであり、早稲田ゆかりの古関裕而(第一応援歌の「紺碧の空」の作曲家)作曲の「オリンピック行進曲」「スポーツショー行進曲」で明るく軽快に幕をあげた。続いて交響詩「ドンファン」が演奏され前半が終了。後半はヨハンシュトラウス作曲の喜歌劇「こうもり」より抜粋されたオペレッタを、プロのソプラノ歌手高橋維、江口二美、バリトン吉川健一と共に華々しく演奏した。最後のメは、紺碧の空、早稲田の栄光、校歌、オーケストラで聴くのも感慨深い。毎年思うのだが、ワセオケはアマチュアであり、4年でメンバーが入れ替わるにもかかわらず、観客を魅了する力がある。今回も素晴らしい演奏を披露した。来年のコンサートが楽しみになった。

小野 泰右 記

<早稲田ラグビー観戦記>



2020年1月11日真新しい新国立競技場のラグビーポールの後方1階自由席に立ち、丸く開けた空を見上げ、11年振りの「荒ぶる」を聴きながら、藍原さんに「早稲田ラグビー日本一おめでとう」とつぶやいた。

藍原さんが期待を賭けた1年生から主要な試合に出場していた5名が、4年生となり、斉藤組で11年振りに日本一に輝いた至福の時だ。

2019年12月1日関東大学ラグビー対抗戦の決勝、共に全勝同士の早明戦で我が早稲田は7対36という近年では稀な大敗を喫した。この負け方では、今後の大学選手権を勝ち抜くことはできないのではないかと思わせる不安定な内容の試合であった。

2020年1月2日大学選手権の準決勝は関西の覇者強敵天理大学戦、苦戦を予想していたが、前に出る積極的なディフェンスと、思い切りのよい攻撃で、天理のミスを誘い続け52対14と圧勝した。

決勝は宿敵明治、舞台は新国立。旧国立では対抗戦で早明が戦い続けた馴染みの舞台、しかもアマチュアスポーツで6万人近い観客を集めるのは、ラグビーの早明戦くらいしか思いつかない人気の試合。当会も観戦申込をしたが、チケット販売時に即完売した。黒坂さんがラグビー部マネージャーに頼み込み自由席7枚を入手した。高橋さんと私とで席確保のため試合開始4時間前に着いたが、既に長蛇の列、散々悩んで1階のポール後方に席を確保した。入場者は、まだ席が出来上がって無い部分を除き5万7000人余りの満席。

明治には12月に負けているだけに厳しい試合になると思っていた、おそらく戦前は8割の人が明治が勝つと予想していたと思う。しかし、試合開始から早稲田は天理戦同様、思い切りのよい攻撃と、積極的に前に出るディフェンスで、受けに回った明治からトライラッシュ。完全に主導権を握り31対0で前半を終了。後半は明治が凄まじい意地を見せ反撃、やや受けに回った早稲田は苦戦を強いられたが、終わってみれば45対35と伝統の一戦らしく素晴らしい試合を見せてもらった。両軍フIFティーンに心から拍手を送りたい。

優勝インタビューで斉藤キャプテンは「明治戦大敗の日から、早稲田は生まれ変わった」と話していた。あの惨敗から40日、早稲田のラグビー部員は我々の想像を絶する練習を重ねたに違いない。ジャパンラグビー同様、周到な準備は自らを裏切らない。

早稲田ラグビー蹴球部員の皆さん感動をありがとう。



小野 泰右 記

<ウォーキング&山歩き部会>

第75回ウォーキング&山歩き (R2.1.6実施) 【護国寺から雑司ヶ谷七福神初詣】活動報告

穏やかな温かい正月で令和2年を迎えました。恒例の箱根駅伝も、我が早稲田は事前の予想を上回るシード権を得る活躍で、来るラグビーに2匹目の泥鰌の期待が大きくなった。

幸運が待っていそうな新年への思いを携え、良き日和の中、総勢12名(男8女4)で、護国寺の大隈重信公の墓参から今年のウォーキングが始めた。広さや墓石の高さ等、「大隈の大風呂敷」などといわれても当然かもしれない立派な墓所であり、墓石には「従1位大勲位侯爵」と刻まれており、我々が母校の創立者の偉大さを偲ばせるものであった。

七福神と言えば、近年では廃れ気味の、室町時代の頃からの「初夢」文化のひとつとして日本で行われた風習から、宝船に乗った絵図が思い起こされる。最初から読んでも逆から読んでも同じ音になる回文歌、「永き世の 遠の眠りの みな目ざめ 波乗り船の 音のよきかな」が簡略化された名残りの一部でもあるという宝船に乗った気分で、七福神の初詣を始めた。七福神とは、福をもたらすとして日本で信仰されている七柱の神である。七柱は一般的には、恵比寿、大黒天、福祿寿、毘沙門天、布袋尊、寿老人、弁財天とされており、それぞれがヒンドゥー教、仏教、道教、神道、など様々な背景を持っている。



大隈公の墓所の前で

広大な名刹を出て首都高5号を潜って少し歩き、狭い境内に鎮座する吉祥天の参拝から始めた。通常、七福神には寿老人がいるが、この地では、代わって吉祥天が入っている。雑司ヶ谷鬼子母神尊像が出土したこの地を「清土出現所」と地元で親しみを込めて呼び、鬼子母神の娘神である吉祥天を祀ったものという。安寧と息災を祈るだけでなく、美女の代名詞としても尊敬を集めており、松の内ということで、平日であったが、初詣客が狭い境内に列をなす盛況

で、この後行く先々でも、大変な人出であった。

七福神について触れて置こう。 **恵比寿**：伊邪那岐命・伊邪那美命の間に生まれた子供「蛭子」、若しくは大国主神の息子であり、唯一日本由来の神である。 **太黒天**：ヒンドゥー教のシヴァ神の化身で、日本古来の大国主神の習合。 **毘沙門天**：ヒンドゥー教の神。仏教に取り入れられてから、戦いの神として民衆に信仰される。 **弁才天（弁財天）**：ヒンドゥー教の女神。仏教に取り入れられ、音楽・弁才・財福・知恵の徳のある天女となった。 **福祿寿**：道教の神で長寿と福祿をもたらす。寿老人と同一神とされることもある。 **布袋尊**：唐の末期に実在したといわれる仏教の禅僧。弥勒菩薩の化身とも言われている。 **吉祥天**：ヒンドゥー教の女神が仏教に取り入れられたもの。母は鬼子母神であり、毘沙門天を夫とする。早くより帝釈天や大自在天などと共に仏教に取り入れられた。弁才天と混同されることが多い。童謡・童話で馴染みの深い大黒天は、深い木立の中に豪壮なお堂を構える鬼子母神本殿の片隅にある大黒堂にひっそりと鎮座しておられ、見逃してしまいそう。観静院という寺の境内の片隅に弁財天、都会のビルの中の一角という不釣り合いな雰囲気の中の布袋尊、他、全ての神が東久留米の七福神より狭い地域に鎮座しておられ、2時間程度で七福神巡りを終えた。

七福神めぐり了(そば)んぬ日和得て 【水原 秋櫻子】

折から昼食時であり、参加者全員で池袋駅近くの店に入り、七福神巡り完遂の祝杯を挙げ、程よきウーキングの後の空腹を満たした。

東海 俊孝 記



大黒天のある鬼子母神社の前で

第76回ウォーキング&山歩き (R2.2.10 実施)

【大田黒記念公園、善福寺緑化公園、和田堀公園、大宮八幡宮】活動報告

暦の上では立春を過ぎているものの、例年なら厳冬真っ只中の筈の季節、冬將軍の到来を危惧していたのに反し、穏やかな温かいウォーキング日和に恵まれ、総勢18名(男15女3)と大勢の参加を得て、荻窪駅南口から6km半程度のウォーキングを開始した。

短い商店街を抜10分程で、音楽評論家大田黒元雄氏の屋敷跡地につくられた大田黒記念公園に着く。荻窪のゆるく起伏する台地に自然の地形を活かした、回遊式日本庭園の入り口は見事である。総檜、切妻づくりで、左右に築地塀のある重厚な構えの正門と、そこから真直ぐに70m続く、樹齢100年を経た大公孫樹の並木を進む。設えた茶室からの細い流れが、広く明るい芝生の庭を下って庭園の中核である池に注ぎ、辺りの鬱蒼と繁る樹木と一緒にになると、深山の雰囲気を漂わせていた。空襲を免れた荻窪一帯の幸運が頭を過ぎった。

公園前から、荻外荘*通りを500m程で、善福寺川の春日橋へ。ここから本日の主目的、川沿いのウォーキングを始めた。(注:歴史書に出てくる、近衛文麿の別邸。当時の荻窪は駅前にソバ屋があるだけで、一望の畑と林だった。現在、一部のみが公園になり公開)

善福寺川は、杉並区の善福寺公園内にある善福寺池に源を発し、地下鉄丸ノ内線中野富士見町駅付近で神田川に合流する。中流の川沿いに都立善福寺川緑地と都立和田堀公園が全長4km超に渡り整備さ



大田黒記念公園

れている。この間は、かなり幅広く茂る木立の中に、歩道に加えてベンチやトイレが整備されており、ウォーキングにこの上ない環境を提供してくれていた。

冬枯れの風景の中でもウォーキングを楽しんでいたのも、600本の桜が咲き競う春、新緑に包まれる季

節、夏の蛍等々、何回でも歩きたいと思ったものである。我々は、18名全員が車座に座れるベンチを見つけ、冬の日差しの中、少し閑し召す者も含めて、昼食を楽しんだ。

善福寺川は住宅地の低地を流れる河川であり、古くから氾濫が知られているが、都市化とともに善福寺池に流入する水量が激減し、普段は、都の清流復活事業により千川上水へ通されている下水高度処理水を、上流に放水している(1989年から)とのことである。

川沿いを歩き詰めて、善福寺川に接した大宮八幡宮に至る。源頼義により建立された武蔵国の三大宮の一つ。前九年の役のとき、鎮守府將軍・源頼義は、奥州に向かう途中、武蔵国にて「八幡大神の御守護のしるしの吉兆」を見、乱を平定した後の康平6年(1063年)に神社を創建したとされる。「多摩の大宮」とも呼ばれ、境内は約15,000坪(明治維新後、35,000坪が押収された後)と都内でも3番目の広さに建つ、深遠で荘厳な社が印象的であった。子育て・安産に特に御利益があるとされ、遠方からも多数の参拝客が訪れるという。

この後、井之頭線西永福駅から帰路に就いた。途中、井之頭公園の池畔を散策し、吉祥寺では、駅にほど近い、排出する煙に燻されているかに見える有名な焼き鳥屋に上がり、打ち上げを行った。

東海 俊孝 記

<俳句部会>



第 234 回 1 月 26 日(日)

兼題：初夢 雪 席題：スマホ・携帯

<高点句>

雪が降るしんしんとただしんしんと 三浦洋子
スマホ見る孤独の群れや冬の雨 杉本達夫

<自選一句>

雪はげし日本海へと信濃川 大久保泰司
初夢や何を見たやら初忘れ 神田尚計
初夢や孫の返しのスマホの絵 川島知子
雪に明け雪に暮れゆくビルの街 片平るみ
見はるかす摩天楼群雪が舞う 比護喜一郎
初夢や渡り切れるか津軽海峡 橘優治
雪静か狭庭の隅にりと在り 横田慧子
初夢や思い出せない夢見たり 馬場清彦
雪合戦知らぬ間にある玉のあと 安宅武一



第 235 回 2 月 16 日(日)

兼題：寒明け 春菊 席題：本

<高点句>

連れ立ちて本の立ち読み春隣 神田尚計
寒明けやコートの色をかえてみる 三浦洋子
雪雪雪駅舎に近き古本屋 杉本達夫

<自選一句>

枕辺の本の増えゆく春の風邪 片平るみ
春菊の天ぶらカリッと昼の膳 川島知子
いつもより熱き茶旨し寒の明け 比護喜一郎
気を整え一歩踏み出す寒の明け 橘優治
寒明けてはや水浴びかすずめたち 横田慧子
寒明や寄せくる波にうすあかり 大久保泰司
東京の寒明け似合う鴉かな 馬場清彦
読みさしの本枕辺に春の昼 安宅武一
片平るみ 記



<書道部会> 新年会

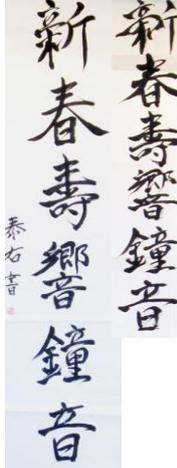
1 月 12 日成美教育会館の和室大広間にて書道部の新年会を行いました。雰囲気の良い大きな床の間、そこに〜令和の由来〜：万葉集・梅花の序文 初春令月、気淑風和、梅披鏡前之粉、蘭薫珮後之香「初春の令月にして、気(き)淑(よ)く風和(やわら)ぎ梅は鏡前の粉を披(ひら)き蘭は珮(はい)＝装飾品)後の香を薫(かおら)す」この 4 行詩の書作品を大きな床の間一杯に飾る豪華且つ厳かな雰囲気の中で慣例の書初めの披露宴が始まりました。書初めの題は“響”とても難しい字です、新時代に相応しい令和の心を現しているかに思えます。部員各自が思いを込めた個性的な書作品が一堂に展開され賑やかに書の世界にのめり込んだ新年会でした。



大矢さん…素直な線質で軽快なリズム感あり、文字の構成も良い。五輪の五の字はまろやかに。全体的に更に迫力ある作品には抑揚感と躍動感の研究が課題。試行錯誤を。



小野さん…同じ書を大と小に挑戦、大の書作の反省から心機一転、思いのまま一気に書いた小作品。リズム感有。響の書は主役らしく大胆運筆で力強く重厚の美を出す工夫を。



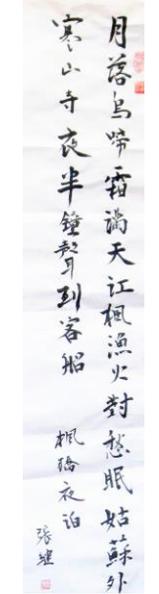
苺草さん…平家物語の祇園精舎の鐘の聲、諸行無常の響きあり。人生を冷静に受け止め丁寧に書いた美しい作品、響きの字はもつと変化に富み躍動感が出るように元氣よく。



栄田先生…鞋(あい) 鞋(あ) 履(り) 響(か)すこと勿(な)かれ 鞋などのバタバタな響を気にすることなく泰然自若としていなさい。筆力、筆勢に富む躍動的な作。響の字は行草書。



笹井さん…響の字を連想して有名な漢詩・楓橋夜泊(張継) 月落烏啼霜滿天・夜半鐘聲到客船の七言絶句を一気に書く、小学生以来とか、書の良し悪しはともあれその意欲はお見事。



前川さん…響き合う心美なり。前川さんの生き様!! 調和のとれた美しい書作、この書は調和体と言われ近代書道の流行。響の字は活力溢れる書に挑戦を、練習に練習を。



栄田征子さん…響き合いの響が草書体、この字は書いた人しか読めない、軽妙な書きぶりで明るくユニークで爽快、響の字にインパクトを、合の字は縦長にメリハリの工夫を。



安次峰さん…響三体、丁寧な用筆で温和な書きぶり、落ちていた書、最後の字は響が逃げてく様子で面白い、課題は力量感のある筆の勢いと筆庄、筆力、ただ練習あるのみ。



字の上部の右の払いふところを大きく洒脱な線にて字形を整える創意工夫を、(反省・武藤)



部首の音は強弱の線で変化を、より響の雰囲気を出すように。(反省・武藤)

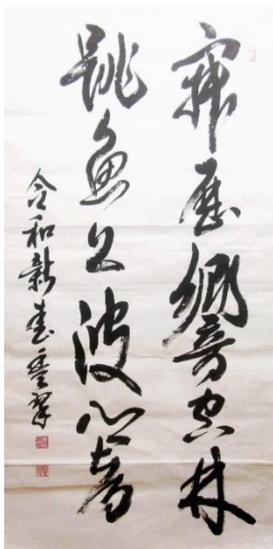


上田さん…一人静かに舟を漕ぎ微かな響きを、字は猛練習を。



村上さん…大胆な運筆で良書、半面一本調子的な線質に留意





寂歴(せきれき) 空林(くうりん)に響く
跳魚(ちょうぎょ) 波(なみ)に上(あ)
が って響(な)く。響(な)の行書(ぎょうしょ)の字(じ)が
やや大(おお)きい、書作(しよさく)の全(ぜん)
体(たい)の バラ(ば)ンス(んす)に留(と)
意(い)・最(さい)後(ご)の字(じ)
は響(な)の草書(そうしょ) 反(はん)
省(しやう) (武藤(むとう)
の 書初(しよしょ)
め)



皆さん(わたなべさんの書初(しよしょ)めの作(さく))左端(ひだり)の字(じ)わかりますか? 木霊(こだま)と 研(こだま)が集(あ)まり “響(な)” となる、合(あ)成(せい)語(ご)のユニーク(ユニーク)な発(はつ)想(しょう)、 センス(センス)あり絵(え)になっ(な)って、銀座(ぎんざ)の一流(いちりゅう)バーの看板(かんばん)になりそう。商標(しょうひょう) 登(とう)録(ろく)を!

真(ま)ん中(ちゆう)の響(な)の字(じ)は落(お)ち着(ちやく)いた重(じゆう)厚(こう)な書(しよ)、や(や)や(や)気(き)迫(せき)がほ(ほ)しい。

“その熱(そのあつ)さが心(こころ)に響(な)く” その熱(あつ)さとは? 筆(ふで)の動(うご)きにリズ(リズム)ム感(かん)あり、明(あ) るい良(よ)書(しよ)。熱(あつ)の字(じ)の美(うつく)しさに負(ま)けず響(な)の字(じ)にもよ(よ)り躍(と)動(どう)感(かん)を、主(しゅ)役(やく)の 響(な)の書(しよ)に相(あ)応(おう)しい工(こう)夫(ふ)を。(寸評(すんべい): 武藤(むとう))

武藤 豊 記

新連載企画 ……オリンピックこぼればなし……

今回は、2/16の俳句部会にご出席の皆様にご挨拶に1964年の東京オリンピックの印象を伺ってみました。

橘さん：大学在学中でした。当時所属していた商業英語研究会の仲間と、オリンピック期間中に皇居に行ってみました。そこでフィリピンの方と英語で会話をしました。その方たちは、バスケットの試合を観戦にいらしたそうでフィリピンの豊かさに驚かされました。

比護さん：オリンピックチケットを譲ってもらったので、会社をさぼって国立競技場に行きましたが、何の種目を見たのかは覚えていません。聖火の最終ランナー、1945年8月6日に広島で生まれた早大生の坂井義則君のフォームが綺麗だったことが印象的でした。

杉本さん：オリンピックの前も期間中も道路工事が原因の渋滞と埃で迷惑でした。ただ、東洋の魔女たちの活躍は素晴らしいと思いましたし、大松監督の著書も全て読んだものです。

川島さん：受験を控えた秋だったので、オリンピックどころではありませんでした。入学後に、偶然橘さんと同じクラブに入り、選手村の見学に行きました。

横田さん：受験を控えた秋でしたので、オリンピックはあまり見た記憶がありません。翌年にユニバーシアードを見に行きました。

安宅さん・神田さん：仕事に忙しく、オリンピックは特に印象に残っていません。

馬場さん：色々な国で体操の試合をし、その国の言葉を片言ですが、覚えました。それが東京オリンピックで役立ち、外国の選手の方と話が出来ました。当時4歳だった娘は、体操のチャスラフスカ選手にダッコされた写真が宝物だと今では話しています。

オリンピックの記録あれこれ

最年少出場	10歳 218日	平行棒	1896年アテネ大会
最年少金メダリスト	13歳 268日	飛び込み	1936年ベルリン大会
※岩崎恭子さんは14歳6日の金メダリストでした。			
最年長出場	72歳 280日	鹿追い団体	1920年アントワープ大会
最年長金メダリスト	64歳 258日	鹿追い団体	1912年ストックホルム大会

片平 るみ 記

部会だより 【今後の予定】

<ゴルフ部会> 4月28日(火) 春の稲門会コンペ

恒例の「春の稲門会コンペ」を下記の通り開催予定です。おそらく新型コロナウイルスの騒ぎも、その頃には沈静化しているものと期待しております。新しく参加してくださる方、大歓迎です。是非腕試しにご参加ください。

日 時 : 4月28日(火)

場 所 : 玉村ゴルフ場

プレイ代 : 6,800円(セルフ、昼食代、税込)

参加費 : 2,000円(賞品、パーティ代)

連絡先 : 金子孝司(ゴルフ部会長) 携帯 : 090-2626-3506

e-mail: cgm.knk@gmail.com

※東久留米稲門会会員以外の校友の方、奥様の参加も歓迎いたします



金子 孝司 記

<ウォーキング&山歩き部会>

(第77回) 羽村堰の桜堤にて花見 <中止>

日時 : 3月30日(月) 9:10 東久留米駅改札口集合 *雨天の場合中止

(第77回) 【山歩き】西吾野から高山不動尊、関八州見晴台(山躰躰)

日時 : 5月11日(月) 8:00 東久留米駅改札口集合 *雨天の場合中止

(第78回) 鎌倉長谷寺(紫陽花) or 小岩菖蒲園(花菖蒲&紫陽花)

日時 : 6月8日(月) *雨天の場合15日(月)

☆詳細は、メール連絡&ホームページ掲載



東海 俊孝 記

<旅行同好会> 第15回東久留米稲門会旅行同好会バスの旅のご案内

旅行同好会は昨年1年休止していましたが、再開を望む声もあり改めて下記の通りバスの旅を計画しました。

今回は館山寺温泉で浜名湖自慢の鰻を堪能します。その後ロープウェイで奥浜名湖を展望し、浜松城に登り、館山寺温泉の老舗旅館に宿泊します。二日目は豊川稲荷まで足を延ばしお稲荷さんに参拝し御利益にあやかります。また、うなぎパイの工場見学、浜松餃子の昼食など楽しみも沢山あります。

新緑の一番美しいこの時期に気の合った仲間とバスの旅を楽しんでみてはいかがでしょうか。多くの方の参加をお待ちします。

記

■日 程 : 令和2年5月17日(日)~18日(月)

■集 合 : 令和2年5月17日(日) 午前6時45分 東久留米市役所前



■行程：5月17日(日)

東久留米市役所 7:00==国立府中 IC=8:30 厚木 SA 8:45==11:20 館山寺 SIC==
11:40 浜名湖自慢天保養鰻場見学(昼食うなぎ重) 13:30==13:45 館山寺ロープウェイ 14:40==
15:20 浜松城 16:30==17:00 山水館欽龍(泊)

5月18日(月)

山水館欽龍 8:30==豊川稲荷拝観 10:00==11:20 春華堂うなぎファクトリー 12:00==
12:30 浜太郎餃子センター 13:30==浜松西 IC==14:30 日本平 SA 14:45==16:45 国立府中 IC==
18:00 東久留米駅

■会費：48,000円 参加人数12名の場合(参加人数の増減により会費は上下します)

*参加希望者は、井坂 宏 Tel:042-477-1632 Email:isk-h112226@globe.ocn.ne.jp

平山正徑 Tel:042-473-3289 Email:mx3hirayama@m8.dion.ne.jp

までご連絡ください。(所要人数になり次第締め切らせて頂きます)

井坂 宏 記

<映画鑑賞会> 第67回順延 5月28日(木)14時~ 於：成美教育文化会館

新型コロナウイルス問題で順延となったため再掲載

「鉄道員」 IL Ferroviere (1956年伊115分)

監督：ピエトロ・ジェルミ、音楽：カルロ・ルスティケリ、

出演：ピエトロ・ジェルミ(機関士)、ルイザ・デラ・ノー(母親)、シルヴァ・コシナ(長女)

エドアルド・ネヴォラ(末子)



イタリアの社会派監督ピエトロ・ジェルミが自ら主演を演じ、力強くも味わい深い演出が一際冴える代表作。飲んだくれの頑固親父、家族を支える優しい妻、不良と付き合う長男、父親に反目する長女、人情味溢れる居酒屋の風景…。しっとりたまぶたに浮かぶシーンにはカルロ・ルスティケリの哀感溢れるメロディーが心に沁みる。そして何より、サンドロ坊やの笑顔といじらしさはまさに天使のよう。ややもすると崩れ落ちそうになる一家5人を、健気にも見えない糸でつなぎ止める姿に胸打たれる。家族の繋がりをテーマにしたドラマの中でこれほど心温まり、余韻を残してくれるものは無い。まさに映画史に残る名作中の名作である。

映画鑑賞会 記

東稲広報室

<新年会：特別会計報告>

令和2年1月19日(日)の新年会の収支は以下のとおりでしたのでご報告します。

[収入] 会費・寄附金(43名)…135,000円

[支出] 飲食費…116,645円、会場費(什器・備品代含む)…8,650円、ビンゴゲーム賞品代…10,280円

[収支] 575円の不足…本会計「イベント補助金」から補填しました。

会計幹事：清水

<年会費3,000円—手数料・無料のお支払い方法>

年会費を払込取扱票で郵便局窓口支払されますと203円。ATMで払込書挿入の場合は152円の手数料がかかります。これをご自身の貯金通帳から、郵貯銀行のATMで(月・一回に限り)払込取扱票記載の東久留米稲門会・振替口座へ送金されますと3月31日までは無料ですが、4月1日から1件につき100円に改訂されました。

郵貯ATMの画面操作

- ①「ご送金」を選択（3段目） ……※最上段「払込書での送金」は選択しないでください。
 - ②ゆうちょ口座に送金を選択（2段目） ③『通帳またはカードを入れる』（音声）
 - ④「暗証番号」を入力 ⑤「記号」…00100-6を入力 → ⑥「番号」…11607を入力
 - ⑦「金額」…3,000円（円も）を入力
 - ⑧「お名前の確認」⇒「はい」 ※表示の「通知のみ」で完了。「メッセージ（有料）」は押さない。
- 貴口座から稲門会口座へ直送** 「記号」…10000 → 「番号」23286841 → 3,000円

<Table For Children>

昨年の8月に送金して以来、お金の集まりが悪く悩んでいました。1月になってお二人の方から3000円ずつ寄付して頂きました。お蔭で手持ちのお金と合わせて7000円を1月31日に滝山子ども食堂へ送金できました。一人の方がどさっと出すよりは少額でも多くの方に出して頂くのが理想なのですが、背に腹は代えられません。7000円は一日の食材費分に相当します。数回調理を手伝った時にわかりました。これからも飲み会の残金など少しでも届けて頂ければと思っています。よろしくお願ひいたします。



河村 洋子 記

<お詫び> 当会のホームページが閲覧不能となった期間がありました

皆様に部会の活動予定や、活動報告にご活用いただいている当会のホームページで、一時アクセス不能となる期間が発生してしまいました。みなさまにご心配いただき、ご不便をおかけしました事、深くお詫び申し上げます。

1月17日にバドミントン部会からアクセスできない旨の連絡を受け、原因究明と復旧作業に入りましたが、不慣れたメンバーでの作業で思わぬ時間がとられてしまいました。高橋会長からの要請により、幹事の坂井淑晃氏が外部の専門の方に要請して作業を進め、2月9日に無事復旧することができました。今後このようなことが発生しないよう、今回事故の原因と今後の対策について、改めて提言をまとめ、役員会で議論することになりました。

ホームページ担当 高橋 小山田

<お詫びと訂正>

前号「東稲ニュースNo.110」のエッセイで校正ミスがありました。筆者の杉本先生及び会員の皆様にお詫びするとともに、下記のように訂正いたします。

- ① P. 18 上から 10 行目「遊女の長い繁栄」 ⇒ 「遊郭の長い繁栄」に修正
- ② P. 18 上から 12 行目「四季共通」 ⇒ 「四季共用」に修正
- ③ P. 18 上から 18 行目「老いとはかくなるもの」 ⇒ 「老いとはかくなるもの」に修正

東稲ニュース編集委員会

<会員リレーエッセイ> ～噴水広場～

円山公園の枝垂桜

井坂 宏 (38 理工)

京都に通い始めてから50年以上になる。京都には四季を通じて心に響いてくるものがある。どの季節に行ってもそれなりの魅力があるが、春はやはり桜である。この10年ほどは桜の時期に京都に行くことが慣例になっている。京都には人を魅了する桜が沢山ある。

高瀬川沿いの桜並木、祇園白川の夜桜、仁和寺の御室桜、平野神社、二条城など枚挙にいとまはないが、ここでは円山公園の枝垂桜について書こうと思う。

もう二十年以上前になるが、初めてこの夜桜を見た時の感激は今でも頭の中にある。ライトアップされ、夜空に嫣然と咲き誇る枝垂桜の大樹。まさに女王としての威厳と、人の心を引き付ける優しさを持ってその空間に君臨していたのである。周りには大勢の人たちが、ある者は桜の姿を写真に撮り、またある者は桜と一緒に写真に写り、周りのベンチに腰掛けてお喋りしたり、飲食したりみな幸せそうであった。一本の桜がこれほど多くの人を幸せな気持ちにすることに感激し、自分自身幸せな気持ちになったのであった。

円山公園にはその他にも桜の木が沢山ある。それらの桜の木を一つひとつの仏とすると、円山公園全体がこの桜を中心の大日如来とする曼荼羅であると一人で納得した。まさにこの枝垂桜は大日如来というのにぴったりである。

この枝垂桜が強く心に残ったのでそのルーツは何であろうかと調べてみた。

円山公園は祇園社（今の八坂神社）の坊社の跡地に明治19年に作られたそうだが、鎌倉時代にはすでに祇園社の桜の記事がある。江戸時代の後期には夜桜を楽しんでいたようである。

この枝垂桜は祇園社の八坊の一つ宝寿院に植えられていたもので、祇園社からもらい受けて庭に植えたものと言われている。明治4年に火災で焼失した宝寿院を取り壊してから枝垂桜の大木として知られるようになったようである。

明治の初め、この一帯の樹木が払い下げられることになり、この枝垂桜も伐られることになったが、たまたまそこを通った当時京都府の勸業課長だった明石博高が5円で買って京都府に寄付したので切られずに済んだと云うことである。その後大木になり、樹勢も盛んであったが、その下でかがり火を焚いたりして樹勢が衰えこの木は昭和22年に枯死してしまった。

京都の植木屋佐野藤右衛門はこの枝垂桜が衰えていくのを心配して昭和2年桜の果実を5リットル貰って自分の庭に蒔いておいた。その内4本が育ち、昭和24年うち3本を京都市に寄付した。いまの木はそのうちの一本である。

昭和2年に発芽したとしてもこの木は樹齢100年足らずである。エドヒガン系のシダレザクラであるので寿命は500年以上あるはずであるが、周りを大勢の人で踏み固められ環境は必ずしも良いとは言えない。

昨年この桜を見たが、以前と同じように女王の如く夜空に君臨し大勢の人を幸せにしている様子を見て一本の木の偉大さを再確認したのである。



<編集後記>



歌は世につれ人につれと言うが、言葉に関しても全く同じことがいえるのではないだろうか。「ら抜き言葉」にしてもいずれ市民権を得ることになるだろう。他にも「おもむろに」「憮然」「破天荒」「姑息」「さわり」などなど意味を勘違いしている言葉も多い。ちなみに正しい意味は「しずかに。ゆっくり」「失望してぼんやりするさま」「誰も成しえなかったことをする」「一時しのぎ」「要点」。え？ と驚かれる方もいらっしゃるのでは？（る）

編集委員：片平 るみ(今回の担当)、有賀 千歳、小山田 朋樹、前川 初子